（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和三年七月十五日　磐城新聞　（日曜日）　第二千二百九十六號　（一）

文藝

A子へ

スエコ

だしぬけに後から
この荒れはてた舌
穀蜜に飢える咽喉に
あなたは、あなたは、
あなたの白い手で
こげ茶色の固い飴一つ
養ってくれましたね
ありがたう、ありがたう
碎く強健な歯はあれど
どうしても歯は立て得ず
唯、その飴は
口中を轉ぶばかり
嘗めずる舌の音は
いつまでも、いつまでも
いつまでも絶えなかつた

留守番

スエコ

父さん役所の居殘りで
母さんあかやとお湯行つた
坊は一人でお留守居だ
十二でふの八でふの二間
夜の留守居は寂しかろ
時計もカッチン寂しさう
母さん早く歸つてよ
父さん早く歸つてよ
坊は一人でさみしいな

河畔に立ちて

日光生

河畔の巨岩頭に立つて美
しき河の流れを見つめた
サラ〳〵と奏でる
ものは音樂か
石と流すの勢は
彼れが激するものならん
サラ〳〵と流るゝものは
美しき彼れの歩みなり
夜となく晝となく
嬉しきの叫びか
悲しきのうめきか
活動は彼れの生來なり
活動なきものは
河とも稱されず
活動を生來とする青年よ
おん身等と彼れの如くに
歌へよかし！
踊れよかし！
そして常に〳〵活動せん
そは家の爲め
國の爲め君の爲め
まことの道を捧げつゝ
濁れる流れも清らかに
溺るゝものも援けつゝ
何時も美しく清らかに
遂に齊しく海に入る
我等が汲々として欲に飽く
なき時も彼れは美しき姿を
以て不斷に流れて居るのだ
彼れが美しき姿もの默
々として天に蘇ゆる新緑の
山の愷より生れるとのだ山
は動かぬ事を生來とするけ
れどとあの山よりと常に
より活動するを以て生來と
する河を産む、そして夜と
なく晝となく何等の不平も
怨ももたずに流れて居るで
はないか
動かぬ自然の中に在つて
獨り河は動く可く自然の代
表として活動して居るのだ
らう、そうだ、サラ〳〵と
コト〳〵と流るゝ音にぞ日
然のうめきなのだ、自然の
嘆きなのだあまりにもはか
なき人間に對するの悲憤の
叫びであらう

童心風景

松本純一

「あきちやん、どらんなさいな、あの海をね」
オカッパの少女は窓に倚つた、小さな鼻が歪むと白い靄がひろがつた
「—母さん、なんにも見えないわよ、これおたしの顏ぢやないの」
夜窓いちめんの硝子戸はまつくらだつた、額緣を外すやうに窓が展いた、美くしい母親は蒼ざめてばんやりと帶上げを扱いでみた。

×

柔かい圓弧を描いた房くびれたやうな咳をしてゐるこゝろ
親は僅かな鼻くそにもたちまちつと動かない、母親のかとかしげに櫛をとつて黑いふくらいだ毛を挽く、瞳むると溢きがる微笑み、たまらなく可愛い、だから母親は僅かな鼻くそにもたれない、巧みにそれを取つてやつと小鼻を摑み「よ」と教へて呉れた
あんなにいらいらしな感情顏を崩す、容貌の醜い女だ——がそういつた「醜の醜くさが今とどめもなく敬虔な伏線かはつきり浮んでくる。

×

近所に馬鹿にきかない子供そしんでゐる子供の群れのなかの小さな軀をみつけるとつかつかとその子供つけると憎惡でいつぱいにした眼が懷かしげに消へた子供がなかつた、そして大人の點電燈かともるとあたりは夕を捉へて妙にひねくれた子供だつた、餓鬼大將を自任する丈夫な子供だつた、毎日ゝがみ潰した顏のいくつかを嘲笑するに飛びまわつてゐる。
その子供がひよつこり姿を見せなくなつた、妙に寂しい氣持が襲つてきた、消うと思つたが消されなかつた、
あの憎惡に滿ち滿ちした子供と張り合つてゐた力の放射がなくなつたのだ、
それで　遊んでる子供たちに訊ねてみたら
「しげちやんは病氣なんだよ」と教へて呉れた
「イヤ兄にも會ひ僞友にも會ふて昨夜首尾よく本懷を遂げたことを聞いて來た早速書を認めたそれには自分は圧左工門とは同意でないがは圧左工門とは同意でないがどうもせんしやくで胸が痛旨を書き大石に當てたものむ、口がきゝにくいからしと今一通につゝあて父立ち去らんとする心ある人ばらくこたつに入り少しあが生害の後この一書を泉岳は氣の毒に思へども何と慰たゝまつてから、それより寺の大石殿に届け侍と同心むすべもなくそのまゝ見送話をするからまあお前達店でなき旨を申上げよと記しる、喜内は吾が身を恥ぢなそのまゝもろ肌を脫ぎ、取へいつてゐなさい」
から一足行つては振返り一「それぢやたとうさん全く直したる一刀、力に任せて同の扮裝昨夜の勇壯な働きに兄さんがいらつしやいまブツリ腹へ突き刺した、うふりをしのばせ、淡やましたか」
げにこれを望め、二足行つ彌助はふに落ちぬことがては見返りながらやうやくあるそれは自分が引揚げを見たが庄左工門の姿を見なりをる彌次馬連中
「來た〳〵仇討のたとつさんが、ゐましたかへた前さんの息子さんは……」大勢がきく
「アゝゐた〳〵」
「ゐたつて豪氣だね、未代位嬉しいことはない」
迄の語り草、何つて云ふ名だねその息子さんは」
云ふ
參りし時の勇氣に引きがへく話しをして聞かせたいが
蔦朋輩に顏を見らるこゝ恥かしく杖を拾ひ、スゴ〳〵立ち去らんとする心ある人は氣の毒に思へども何と慰むすべもなくそのまゝ見送る、喜内は吾が身を恥ぢながら一足行つては振返り一同の扮裝昨夜の勇壯な働きに兄さんがいらつしやいまブツリ腹へ突き刺した、うふりをしのばせ、淡やましたか」
げにこれを望め、二足行つ彌助はふに落ちぬことがては見返りながらやうやくあるそれは自分が引揚げを見たが庄左工門の姿を見なりをる彌次馬連中
「來た〳〵仇討のたとつさんが、ゐましたかへた前さん門が第一の手柄、自分計りの息子さんは……」大勢が親父兄弟まで肩身の廣くきく
「アゝゐた〳〵」
「ゐたつて豪氣だね、未代位嬉しいことはない」
迄の語り草、何つて云ふ名だねその息子さんは」
云ふ

吉田眼科醫院

平町舊城跡
電話四〇三番

青沼醫院

劇に關く男達

講談

(140)　福田　涙川作
尾崎　雪暦畫

喜内が自刃
小山田は悲憤の涙にくれ

※五七……※明日の吉凶……※舊暦二月新月十日暦八月五日

▲一白　人の世話事は斷り待らるゝだけ斷るがよし▲二黒　多少の骨折はあれども自然の增收あるべし▲三碧　實力を顧みず過大なる事に手を出せば失敗▲四綠　獨斷にて事を處する時は失敗目上に計るべし▲五黄　物事急には運ばざれども末遂ぐる平和の日▲六白　投機業を除きての外は何事も進んでよき日▲七赤　守るよりも進むを先にすべき日旅行は凶▲八白　內輪に事なき樣和合を主とすれば吉となる▲九紫　幸運に向ふ日心圓滿なれば尤も早かるべし

食用鳩

（カルノー　ホワイトキング　シルバーキング）

ブリユウセキセイ　オカメインコ
アカボタンインコ　カルカヤインコ
ダルマインコ　小紋鳥
一紅鳥　錦花鳥
白文鳥　白十姉妹
脊ノコリ小斑

平町田町本通り

ベニヤ小鳥店

ツルヤ洋品店

の
夏の子供服
陳列會

イタツラ者　三十錢より
ボイル服　一圓四十錢より
富士絹服　二圓　より

御自由御覽になられる樣
店內に陳列致しました。
特に御勉め品霜降通學服
大特價提供!!

一號　一圓拾錢
二號　一圓
三號　九拾錢

平町四丁目

ツルヤ

優秀なる最新型腕卷時計

◉クローム側　白金代用側

十型　十石入　アンクル　七圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾圓
九型十五石入上アンクル　九圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾三圓
八型十五石入　アンクル　拾貳圓
八型十五石極上アンクル　拾五圓

◉十八金側　〔金質保証〕

十型　十石入上アンクル　拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾五圓
八型十五石入上アンクル　拾七圓

平町五丁目〔釜屋商店前〕

鐵道省御用

金光堂時計店

電話七三六番

富内省御用達

ヒゲタ醬油

醸造元　銚子醬油株式會社

平町田町

特約店

廣瀬支店

電話五四番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵金物問屋 久 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番　一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

賣切御禮廣告

先般セイコー抽籤付腕時計賣出中の處御引立に預り全部賣切申候此の段御厚禮申述べ候

大谷時計病院

三丁目〔電話一九番〕

各位

公告

本郡の舊家、寺社、研究家に急告

御大典御成婚奉祝紀念献上の爲

磐城史料圖版集成刊行

〔凡て東京にて謹製〕

今上陛下曩古の御即位式と本縣人松平節子姫が畏くも秩父宮殿下と御成婚を遊ばさるる御盛事等が孰れも秋御擧行し給へるに對し奉り古來陸奥文化最初の本源地と爲す我が磐城即ち現代石城郡の所謂歷史寫眞帳なるものを生等幾學をも願みず此際に於て謹纂し之を献上し齊しく鄕土の實在をして天覽、叡覽の光榮に浴すべく冀ひ聊か本郡の國民的誠意の一片を儀表し度き希ひである。

仮て本郡各舊家、寺社、研究家の所藏する古遺物並に文書、家系譜或は學者偉人、功勞者、名工並に名人等の遺墨肖像及び其の作品等を至急寫眞材料に御貸與願ひたし。費用一切申受けず。御持參下されば即時複寫若しくは撮影して返却す。

ノ切本月末日限り！

申込所　平町白銀町十一番地
（電話八〇九又は七番・三〇一番）

謹纂並に解說者
『磐城文化史』御買上の光榮者

諸根樟一
諸橋元三郎
草野順平

此の際各自所藏資料の提供を吝みて萬代に悔ゆる勿れ！

迅速、低廉、親切

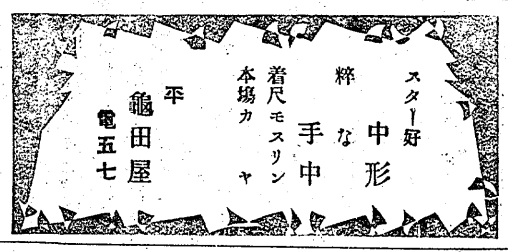
靴製造

深谷靴店

並二附屬品

深谷卯三郎

平町堤ノ內二一三



（十五日夕刊）
休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢）
廣告料二行卒錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社
電話四〇三番

一週間の赤化宣傳週間を
磐城農黨の飛躍
社會はその一擧一動を疑ふ
民政黨員盲動せよ

日本共産黨事件物發覺後解散を命ぜられた舊勞農黨の殘留分子が、新黨組織準備會の名に於て去る十日午劇ざる行動を敢てして恬然顧みざる石城民政黨一部幹部の主唱により更らに……既報の如くである、而して同演說會終局の目的が奈邊に在りしかは主催者平常の主義行動に照らし既に說明を要せずして瞭かなものあるが、過々同會席上會なるものを開くとの事で、斯くの如くして舊勢力の糾合を策し、石城民政黨と石城民政黨最近の行動は益々社會の疑惑を深めるや、是れ等の諸氏が石城心ある人士の顰蹙を高めつつあるが團體、基礎を危よ

檢束問題

同會閉會後同一會場に於て更らに彼の舊勢力の集團と同一の……此の際民政黨員は絶對に輕擧盲動を愼しむべきであらうと一般の……

赤化宣傳

週間として全國的に飛躍しつつある事實に徴し彼れ等が差當る各種の行動は全目的容易に窺知するに足るものあると共に、石城民政黨が今後この……

其の筋の調定で
問責演說會延期
藪蛇の形の石城民政黨
どうやら安堵す

別項中署の問責演說會を衆黨が此の問責演說大會を無期延期するに至つた表面の理由は同演說會が開催さるべく各種の準備を進め……

個人問題

を解決するに公黨の威力を惡用し矛盾極まる決議文なるものゝ突き付けて猪狩中警察署長に迫る等寧ろ兒戲に類する痴態を演ずるに至つてより社會一般は勿論、多數の民政黨員等は其の不純なる動機に基く民政黨幹部の輕擧盲動を寧ろ迷惑千萬な越權の……

鶴嘴を振つて
同僚を半殺
石炭坑内の慘事

石城郡内郷村大字白水磐城炭礦綴坑坑夫佐々木幸作（二八）は十二日午後七時ころ坑内で同僚吉川早之助（二四）くがなほ學術その他の講習と爭論を始めあり合せの鶴會をも開催する由

軍艦五十の雄姿
小名濱頭に現る
濃霧の爲めに
三時間遲れて

今十四日午前七時小名濱港着五時小名濱外約五浬沖合に入港の豫定であつた軍艦は昨十三日午後六時ころ千葉縣勝浦港を出帆一路小名濱港に向つて航行今朝午前二時頃迄に同港外に投錨鈴木小名濱町長以下の歡迎を受けて艦長以下下艦軍樂隊一行は直ちに一部隊に向つて出發した

磐女水泳練習

磐城高等女學校では今夏も例年の如く夏期休暇中磐城中學教諭山崎光雄氏を聘し千葉縣勝浦港を出帆一路小名濱港に向つて航行今朝午前二時頃迄に同港外に投錨鈴木小名濱町長以下の歡迎を受けて艦長以下下艦軍樂隊一行は直ちに一部隊に向つて出發した

磐中競技部の
歡迎
長距離マラソン選手

青森出發近づく

來る二十日青森出發を以て……

飯野地方農況

石城郡飯野村地方は既に田植終了し目下は第一番除草最中だが本年は植付せしより適宜水分も間に合紹作も概して良好で有るが一部には害虫發生せし個所も有之が驅除中で有其他畑地麥の收穫より豆野菜類の採集を成す所に茄子胡瓜等は毎日平穩時代から……

悲止玉蠅
石城地方に發生
被害甚だし

石城郡地方桑園に最近悲止玉蠅が發生しその被害甚大で當業者は大狼狽をしてゐるが殊に江名町下小川村上遠野村方面で甚だしく十三日來郡養蠶同業組合或は組合と協力して驅除方法を……

急激の暑熱で
平の死亡者激增
幼少者には飲料水を注意
食物の節制が大切

ジメ〳〵した鬱陶しい梅雨寢の續在は心あるものゝ常に話題に上る所であるが最近同町では種々考慮の結果現在驛前デパートメントストアの背後後に當る廣大なる空地を以て……

副業に有利な
養鷄の改善奬勵
郡農會が九項目の
改良法を普及

石城郡農會では郡下農村の力を擧げて養鷄其の他の副業奬勵に努むべく目下各種の準備を急いでゐるが愈々田植の農繁期外で此れは養鷄法の不熟練者に於ける……

軍樂隊の
演奏公開
今日磐女と
平劇場で

明日の天候

今日の溫度と

小名濱測候所發表

本日正午の氣溫は七十三度九分明日は南東の風晴れ後……

童話の會
來る廿一日
平一、二校で

湯本町の
魔窟整理案
一部有志が研究中

檀葉氏が

平第一、第二兩小學校では來る二十一日午前中日本童話協會理事檀葉勇氏を招ざ……

童話講演會を催すと

この頃の園藝
準備や播種植付や
挿木や手入れなど
小塙分場長談

▽今月の準備△

梅雨があけまして例によつて急に暑くなつて參りました、愛賞の盆栽類はこの時が非常に大切でありまして、もし相當な手入れを怠りました時には、葉や枝がいためますばかりか根こそぎ枯らしてしまふこともございますから用心せねばなりません、梅雨中はしめつぽい空氣で葉や枝が少からず軟弱になつてゐたところへ急にはげしい夏の光りがさし芽を忘れてはなりません。

▽今月の手入△

生垣、庭木は刈込みを行ひます牡丹、藤、椿は何れも曾花柄を切り去つて木の衰弱を防いだがよろしい。盆栽類の芽つみも忘れてはなりません。

ダリヤは蕾が出てまゐりましたら側のものはつみ取つて中心の一つだけをのし、丈夫に咲かせます。

馬鈴薯、うど、食用百合などは蕾が出たらつみすてます。

▽播種と植付△

今月ごろ播種する草花は參、四十日大根、二十日大根、小蕪、野みつば胡瓜、いんげんなどがあります。人參は乾きすぎると中々に生えませんから播いた上にうすく藁をしき時々かん水します、大根、蕪類は虫物はよく切れるものを用ひて乾くのを防ぎます。一株小さい鉢をさかさにおほふ作つておきます。度々水をやるのは……

トマトは果實のかげになる葉を三分のほど切つて日光をよび入れます。

チユウリップ、ヒヤシンス、クロッカス、水仙などは葉が黃變したら天氣よき土氣の乾いてゐる日を見て掘り上げます。そしてよく乾かして砂の中へ貯藏しまして……

池中の睡蓮には棒鉢を一本ほど池中につき込み肥料各方面共に養鷄組合の設立有名な愛知縣下の百四十餘を見んとする機運に到達し……

かゞみ

胡月の助六が男……

血の廻りが惡いのネ」と言ふから無放だへと聞いたら、或るお客さんが妾の持つてゐた十圓紙幣を見て「サテワヤツタナ」と言ふから一御冗談でせう三日も前から此れをよつてダッシメンを見せてやつたの……そしたらソリヤー何んのおまちないだツて達へネ五男にどうせ血の廻りが惡いんだよお前は偉らいよ、血の廻りが好過ぎて毎月ダッシメンの御やつかいになるんでせう八千代「お前ア〳〵怒りながら何處へ行くんだい、ナニ紙くすが何時も惡口ばかり書くから新田町を代表して名譽毀損の告訴をしてくるんだツて勸辨してくんな惡氣で言いるんだから此う見わけもネがにとなしいんだ告訴だなんて聞くと三日位いシャツクリが出て困るんだオドカシツコなシ……

大鯨捕獲

東洋捕鯨會社小名濱事業場では一日長さ七間餘の大鯨を本縣沖合に於て一頭補獲した

喰合の中毒
衛生課員談
注意して欲しい

愈々夏季に入つて新鮮な果物や氷水等が喜ばれる頃となつたがそれと同時に惡疫や喰物の喰合せで中毒を起す者がボツ〳〵出初めて來た此れに就いて平町の衛生組合と協力して驅除方法を……

玉繭取買方法　玉繭の販賣は絹繭の景品と考へた……

餘り養蠶家は氣に止めなかつたのに鑑み福島繭市場組合では今秋蠶繭の出廻りから……

害虫發生せし個所も有之が驅除中で有其他畑地麥の收穫より豆野菜類の採集を成す所に茄子胡瓜等は毎日平穩時代から……

官私立學校生徒の爲め縣立磐女校庭で同午後一時から一般の爲め平劇場で公開する筈であつた軍樂隊の演奏は……

午後一時から磐女で午後二時平から平劇場で三時間餘喰合の中毒で先ずどんな物か中毒を起すかと言へば

▲西瓜には天ぷら、熊の胃うどん、そば及び一般めん類

▲燒もゆうに、冷や奴（豆腐を冷した物でこれは飯食家の注意すべきことです）

▲キウリにコンニヤク（これなどは夏期にはしば〳〵食用され易いものです）

以上の項目を擧げ一般營業者を指導奬勵するやになつた

選手を招待
觀迎會
入山、九炭の野球戰後本社で

人山炭礦と茨城縣九炭野球戰は既報の如く明十五日午後二時から平町磐中グラウンドに於いて擧行するが……

試合後本社では兩軍選手全部を招待饗に於いて歡迎會を催す筈である

映畫の王者
トライオンの
戀の眞實

グレン・トライオンと言ふ……

ライオンは自分の愛した女の外には決して見向きもしないからである」……

マンタン
メー・マレー
再び映畫に

古いファン諸君には忘れ……

女優メー・マレイは長……

赤化宣傳
週間として

全國的に飛躍しつつある事實に徴し彼れ等が差當る各種の行動は全目的容易に窺知するに足るものあると共に、石城民政黨が今後この……

磐中競技部の
歡迎
長距離マラソン選手

青森出發近づく

來る二十日青森出發を以て……

鈴木

赤化宣傳

週間として全國的に飛躍しつつある事實に徴し彼れ等が差當る各種の行動は全目的容易に窺知するに足るものあると共に、石城民政黨が今後この……

到着した
「ラモナ」
二十七日公開

ユナイテッド・アーチスツ映畫ニドウイン・ケルー監督ドロレス・デルリオ主演ウオーナー・バクスター、ドン・アルゴアラド、ローランド・ドルー共演「ラモナ」が去る十……

アメリカ・インデイアンと白人の娘との戀と爭鬪が其のライゲアルに描かれて居る、昨年名畫「復活」を出したユナイテッド社オブトリオは今年再び此の好篇「ラモナ」を實して……

敦倫の丑満時（供提社盛映畫四東）

急激の暑熱で
平の死亡者激增
幼少者には飲料水を注意
食物の節制が大切

ジメ〳〵した鬱陶しい梅雨寢の續在は心あるものゝ常に話題に上る所であるが最近同町では種々考慮の結果現在驛前デパートメントストアの背後後に當る廣大なる空地を以て……

副業に有利な
養鷄の改善奬勵
郡農會が九項目の
改良法を普及

石城郡農會では郡下農村の力を擧げて養鷄其の他の副業奬勵に努むべく目下各種の準備を急いでゐるが愈々田植の農繁期外で此れは養鷄法の不熟練者に於ける……

軍樂隊の
演奏公開
今日磐女と
平劇場で

明日の天候

今日の溫度と

小名濱測候所發表

本日正午の氣溫は七十三度九分明日は南東の風晴れ後……

童話の會
來る廿一日
平一、二校で

湯本町の
魔窟整理案
一部有志が研究中

檀葉氏が

平第一、第二兩小學校では來る二十一日午前中日本童話協會理事檀葉勇氏を招ざ……

童話講演會を催すと